

拠出金名:国際連合食糧農業機関拠出金

国際機関等名	国際連合食糧農業機関拠出金 (英文名称・略称) Food and Agriculture Organization (FAO)				
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)	国連専門機関	その他
所管官庁担当局課名		農林水産省大臣官房国際部国際協力課			
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成22年度	541,230	5,758		1米ドル = 94円	96.7
平成21年度	680,565	6,607		1米ドル = 103円	97.3
平成20年度	585,964	5,186		1米ドル = 113円	96.4
当該拠出金の目的・用途等		各種プロジェクトの実施			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008-09年のもの)				国際機関等の財政 (2008-09年度決算)(千米ドル)	
	国 名	金 額 (百万米ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 2,213,639	
1位	欧州委員会	189.7	17.0	当該年度の支出 2,772,631	
2位	多国間拠出	116.3	10.4	次年度への繰越 ▲ 558,992	
3位	米国	81.4	7.3	会計検査機関名	
4位	スペイン	64.7	5.8	加盟国の会計検査院長 (現在の構成員の出身国:フィリピン)	
5位	UNOCHA	63.4	5.7		
日本:13位、拠出率2.2%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
FAOは、人類の栄養及び生活水準を向上、食料及び農産物の生産、流通及び農村住民の生活条件の改善により、世界経済の成長への寄与を通じて、世界の食料安全保障を達成し、人類を飢餓から解放することを目的とした食料・農林水産業に関する国連専門機関である。その主要任務である食料・農林水産業に関する国際的な検討の場の提供、国際条約等の執行機関、世界の食料・農林水産物に関する調査分析及び情報の収集・伝達、開発途上国に対する技術助言・技術協力の活動において一定の役割を果たしている。					
邦人職員数 うち幹部以上	24 人 うち 6 人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		938 人 2.6 %
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
アジア・太平洋地域事務所長		小沼 廣幸		農林水産省出身	
官房協力連絡・外務部次長		伊藤 正人			
日本事務所代表		横山 光弘		農林水産省出身	
知識・コミュニケーション局管理課長		花岡 靖子		農林水産省出身	
農業消費者保護局植物防疫条約事務局		横井 幸生			
ベトナム国事務所長		庄司 ゆり子			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
FAOへの分担金額の割合に比べ邦人職員数が少ない、いわゆる「アンダーレブ」問題について、①ハイレベル会議等の場においてFAO事務局に改善を要請するとともに、②FAO信託基金事業による邦人専門家の派遣、③任期を終えた準専門家がFAO正規職員として引き続き雇用されるための働きかけ等を行っている。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。